

「第52回 獣医師の日祝賀会」が開催されました



令和6年1月6日(土)、台湾の屏東科学技術大学記念館にて「第52回 獣医師の日祝賀会」が開催されました。東アジア3カ国(日本、韓国、台湾)で獣医学術交流に関する MOU を締結していることから、(公社)日本獣医師会及びアジア獣医師会連合(FAVA)の藏内勇夫会長、大韓民国獣医師会のホ・ジュヒョン会長が出席しました。

このイベントは台湾獣医師会が毎年開催する重要な行事で、台湾全土の獣医師会が集う恒例行事となっています。



世界獣医師会元会長のジョンソン・チャンや韓国獣医師会会長、屏東大学の学長や台湾獣医師会会長と記念撮影



屏東県の小学校の生徒たちによる歓迎ダンス

【藏内勇夫会長:挨拶】

台湾獣医師会、大韓民国獣医師会、そして我々日本獣医師会の3者は2018年1月に「獣医学術交流の推進に関する覚書」を締結しました。以来、新型コロナウイルスの影響もありましたが、親しく交流を続けているところです。



近年、人獣共通感染症はもとより、地球規模での薬剤耐性菌問題や生態系の保全、畜産物の生産向上による食糧の安定供給など、獣医師の専門性が必要とされる領域は多岐にわたってきております。こうした地球規模の課題は、一国のみでは解決し得ない問題であり、国際的に連携し、取り組んでいかなければなりません。今こそ我々の協力関係、そして培ってきた絆が大きな役割を果たすものと考えています。今回、皆さんとの絆を一層強固にするために、私は台湾にやって参りました。本日の大会では、大いに皆さんと語りあいたいと思っています。